

「長生村 Slow for Kids 宣言」

長生村では、車を運転中に子どもの姿を見かけたら、運転手は、速やかに減速し、子どもたちが安全に安心して通行できるように、できるだけゆっくりした速度（目安として時速20キロ以下）で通り過ぎるように心がけます。



【本宣言の趣旨】

本宣言は、長生村のローカルルールとして、主に通学時の子供たちを見かけたら、ドライバーの皆さんが減速してくださるように、自主的な協力をお願いする呼びかけです。義務的なものではないことから、罰則も当然ありません。車を運転する大人たちによって、子どもたちの安全・安心を守るという意識の下、ご協力をお願いするものです。

長生村の通学路は、交通環境に伴い順次整備を行ってきましたが、全ての通学路に歩道やガードレールを設置することが困難な状況にあり、路肩部分を歩くのに自動車との距離が近くなり、危険を伴う通学路も少なくありません。そこで、自動車で道路を利用される大人たちの意識を高め、行動様態を改めていただくことで、実際の交通安全効果を高めようとするものです。

子どもたちを大切にし、その安全・安心を確保することは、こんにちの我々が最優先すべき課題の一つです。本宣言は、あくまで努力目標としての長生村のローカルルールでの宣言ですが、近隣の一宮町及び睦沢町では既に取り組みが始まっており、両町と道路が接続している本村も同内容の宣言を行うことで、この輪を長生地域からより広い地域に広げ、交通安全の確保について大きな効果が得られるものと考えます。

2021年6月に八街市で通学中の子どもたちの列にトラックが飛び込み、児童5人が巻き込まれ犠牲になる痛ましい事故は記憶に新しいと思います。飲酒の上の居眠り運転が原因であり、運転手の行為は許しがたく、管理責任があった会社にも問題があったということは言うまでもありません。

しかしながら、子どもたちの安全確保は社会全体で責任を負うべきものであり、そういった意味からは、こうした悲惨な事故の発生には、我々大人一人ひとりに応分の責任があったとも言えます。

私たちは、こうした悲しい事故が発生する前に、いかにして子どもたちを守るか、社会全体でより真摯に取り組むべきだったと考えます。その大きな悔恨の思いを込めて、本宣言を長生村に掲げるものです。